



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

試作レス設計のための三次元有限要素法による仮想設計システムの構築

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 河瀬, 順洋 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/356

「試作レス設計のための三次元有限要素法による仮想設計システムの構築」

はしがき

従来、回転機の設計は、基礎的な物理現象の把握と、試作、実験の繰り返しによる経験の積み重ねによって行われてきた。しかし、有限要素法などによる磁界解析法を用いることにより、短期間で高効率な試作レス設計が可能となり、二次元場においては既に設計現場で実用されている。ところが、近年の技術の躍進的な進歩と共に複雑な制御、構造を有する回転機の開発も盛んに行われるようになり、回転機の試作レス設計のための汎用的な三次元仮想設計システムの構築が望まれている。

私はこのような観点から、三次元有限要素法を用いた仮想設計システムを構築するために科学研究費補助金基盤研究(C)(2)の援助により、平成9年度から平成10年度まで2年間にわたっていろいろな角度からの研究を行ってきた。ここに研究成果報告書を作成したが、この報告書がこれからの仮想設計システムの研究の一助となれば幸いである。

平成11年3月

研究代表者 河瀬順洋

研究組織

研究代表者 河瀬順洋（岐阜大学工学部教授）

研究経費

平成9年度	2,200千円
平成10年度	1,100千円
計	3,300千円